



# 末広（校長室だより）

千葉市立末広中学校 校長室だより第12号 令和8年6月19日発行

## 2年生 いのちを守る教育（救命講習）を実施しました

6月10日（水）の2・3校時、2年生を対象にAEDを用いた心肺蘇生法を学ぶ救命講習を実施しました。その概要は以下のとおりです。

- 【目的】
- ・救命処置の技術を習得し、緊急時に救命に参加できる勇気を育てる。
  - ・困っている人がいたら、手を差し伸べる人に成長させる。
- 【講師】
- ・あかいし脳神経外科 赤石江太郎先生
  - ・神田内科医院 神田 章弘先生（本校学校医）
  - ・インストラクター 千葉市消防局警防部救急課、千葉市中央消防署救急隊員、千葉市中央消防署救急救命士、千葉市消防学校救急救命士、他市消防本部救急救命士、大学の医師、大学の救急救命士、病院の臨床工学技士、病院の救急救命士、病院の看護師等（26名）
- 【方法】
- ・各学級で7グループ（4～5人班）をつくり、各インストラクターより指導を受ける。

総勢28名の講師の方をお招きしての実施となりました。これだけ多くの方に来ていただいている学校は千葉市でもわずかです。実際に胸骨圧迫をやった生徒からは1～2分で「きつい」との声が。これを救急隊員や看護師の方たちは数十分続けて行っていると聞き、生徒たちは驚いていました。生命を守るために日夜働いている方々から生命の大切さについて直接話を聞き、生徒たちは多くのことを感じ取ってくれたようです。生徒の感想等、詳細は「保健だより6月号」をご覧ください。



学校医神田先生による胸骨圧迫の実演を真剣に見る生徒



動画や画像等でわかりやすく説明してくれるインストラクター



実際に胸骨圧迫を行います  
これが結構大変です



先生たちも受講しました  
真剣です



It is the true courage to do at the time to do right. ※



末広中学校のAEDは  
体育館入り口に設置しています

### 赤石先生が伝えたい！ 4つの勇気！

- ・人が倒れていたなら声をかける勇気
- ・反応がなかったら人を呼ぶ勇気
- ・自分で胸骨圧迫を開始する勇気
- ・音声指示が出たらAEDのオレンジボタンを自分で押す勇気



※（日本語訳）正しいことをすべき時に、正しいことを行うことこそが、真の勇気である。  
インストラクターの方が着用していたシャツの背面に書かれていた言葉です。思いが伝わります。